

【照会先】

大阪労働局 労働基準部 健康課
(電 話) 06 (6949) 6500

“熱中症死亡ゼロを目指して”

～5月から9月まで職場における熱中症予防対策を実施～

○ 令和元年の府内の事業場における業務上での熱中症は、記録的な猛暑の一昨年の件数から減少したとはいえ、死亡者数が2人(前年3人)、休業4日以上之死傷者数が50人(前年89人)とここ10年で2番目に多い数となりました。

○ このため厚生労働省大阪労働局(局長 井上 真)では、職場における熱中症予防対策の一層の推進を図るため、本年も5月から9月までの期間「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します。(重点取組期間を7月に設定)

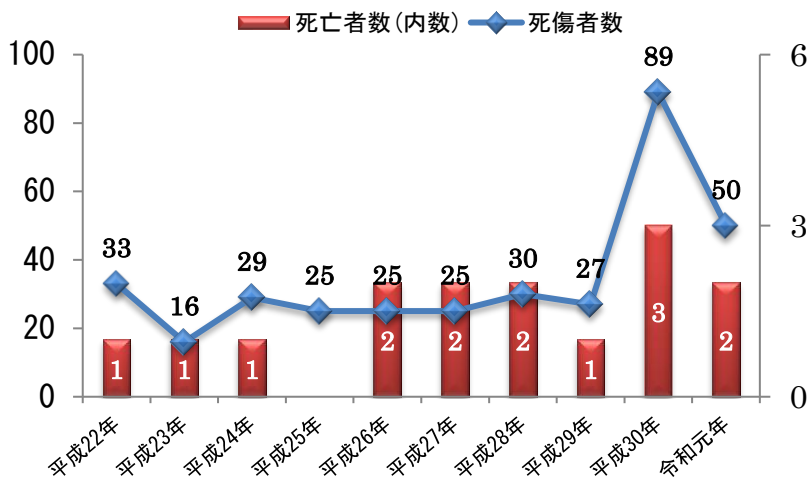
※「マスク着用時における熱中症対応について」も記載(資料1参照)しております。

上記のキャンペーン期間中、暑さが本格化する6月～8月に熱中症予防対策セミナーの開催を予定しています。同セミナーでは行政から熱中症対策の情報の提供、専門医からの具体的な手法及び熱中症対策に積極的に取り組まれている事業場からの事例発表を予定としています。

ただし、現在新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、セミナー等の実施が可能と判断される状況となるまでの間は、大阪労働局HP等で広く熱中症予防対策について取組を呼び掛けることとしています。詳細は別添資料参照ください。

死傷者数発生推移

- ◇ 熱中症による休業4以上の死傷者は、前年より減少したものの、50人発生した。
- ◇ また、死亡者数も前年より1人減少したものの、2人発生した。



令和2年度の熱中症予防対策の取組について

- 令和2年の熱中症予防対策として、次の取組等を実施します。
 - ・「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施
 - ・熱中症予防対策セミナーの開催
 - ・ホームページ、リーフレット等による周知啓発
 - ・事業場に対する熱中症予防の指導

大阪労働局は、令和2年も5月から9月までを熱中症予防対策の強調期間と定め、次の取組を行うこととしています。

- (1) 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」（5月1日から9月30日）
(資料1 参照)

- (2) 熱中症予防対策セミナーの開催

【開催日：6月24日、7月14日、8月6日】

※ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、日時の変更や中止となる場合もあります。

- (3) 暑さ指数（WBGT 指数※）計の普及促進と WBGT 指数に基づく対策の実施について指導

※WBGT 指数については、以下の厚生労働省 HP を参考にしてください。

https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudouki_jun/anzeneisei05/

- (4) ホームページでの周知広報

大阪労働局 新着情報・イベント情報

https://jsite.mhlw.go.jp/osaka-roudoukyoku/news_topics/topics.html

※ 大阪産業保健総合支援センターの HP へリンクしています。熱中症予防対策について参考にしてください。

厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133.html>

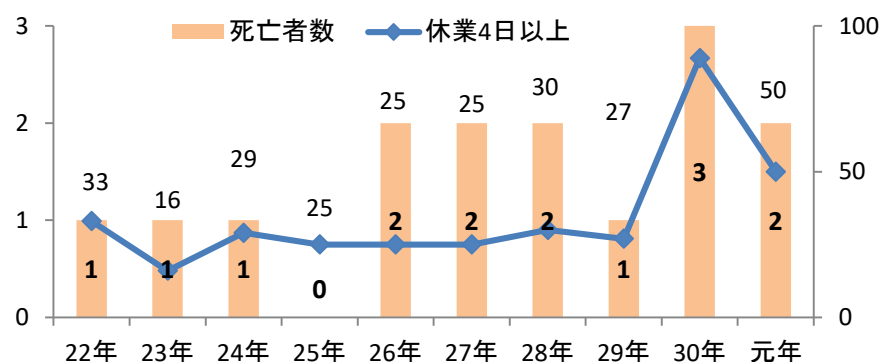
※※ 日本語他10か国語の熱中症対策のリーフレットも掲載されていますので、厚生労働省 HP「Stop！熱中症 クールワークキャンペーン [職場における熱中症予防対策]」よりアクセスのうえご活用ください。

— 職場で熱中症による死亡者ゼロを目指して —

死亡ゼロに

熱中症を予防しよう!

熱中症による労働災害発生状況



大阪府内では、職場における熱中症の死亡災害が、毎年のように発生しています。

また、令和元年は、記録的な猛暑の一昨年より減少したものの、過去10年間で2番目に多い50人の休業4日以上災害(うち死亡2人)が発生しました。

熱中症とは、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称で、めまい、こむらえり等の症状や重症では**死にいたる**こともあります。

大阪労働局では、労働災害防止団体などと連携して、職場における熱中症の予防のために

「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」

キャンペーン期間：5月～9月 (重点取組期間 7月)

を展開し、重点的な取組を進めています。

各事業場においては、事業者、労働者が協力して、**熱中症予防対策に取り組ましましょう!**

なお、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」については、裏面の「熱中症予防対策」の内容を踏まえだ取組をすすめていただくことに加え、本年については、とくに下記の内容にもご配慮のうえ対策を講じていただきますようお願いいたします。

マスク着用時における熱中症対応について

本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用での作業等が行われることが想定されます。マスクを着用しての作業等においては、労働者ごとで、各事業場で作業環境ごとの違いはありますが、

「マスクの着用で、通常より口の周りの湿度があがる。結果、熱がこもり体温が高くなりやすくなる。」

との指摘があります。そのため、今まで以上に徹底した熱中症予防対策(例参照)につとめていただきますようお願いいたします。

(例)

- ・ 体のだるさや暑さを感じる前に、定期的に早めに日陰等(できればマスクをはずせるような環境)の涼しい場所で休憩できるように休憩場所を確保しましょう。
- ・ 休憩回数を今までより多くとれるように作業計画を立てましょう。また、休憩場所が密にならないように広めの場所を確保していただくよう配慮をお願いします。
- ・ 水分の補給について、労働者が、喉が渇かなくても定期的に早めにしっかりとれるように準備をしましょう。また、とくに普段の行動と異なる労働者に対して、必要により経口補水液を提供できるように準備しましょう。
- ・ 通常より暑さに対する適応が遅れていると思われる労働者については、徐々に体が慣れるように一定の配慮のうえ作業させましょう。また、あわせて裏面にもご配慮ください。



厚生労働省 大阪労働局・各労働基準監督署

<https://jsite.mhlw.go.jp/osaka-roudoukyoku/>

事業場で実施すべき事項

事業場では、期間ごとに次の事項に重点的に取り組んで下さい。確実に実施したか確認しましょう☑

●準備期間

- **暑さ指数（WBGT値）の把握の準備**
JIS Z 8504又は JIS B 7922 に適合した**暑さ指数計を準備**しましょう。規格に適合しない機器を使用したため正確な値が得られず対策が不十分となった事例も報告されています。
- **作業計画の策定等**
暑さ指数に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう**余裕を持った作業計画**をたてましょう。
- **設備対策の検討**
簡易な屋根の設置、通風又は冷房設備の設置、ミストシャワーなどにより、**暑さ指数を下げる方法**を検討しましょう。
- **休憩場所の確保の検討**
作業場所の近くに**冷房**を備えた休憩場所や**日陰**などの涼しい休憩場所を確保しましょう。
- **服装等の検討**
通気性のいい作業着を準備しておきましょう。**クールベスト**や**送風機能**のある作業服も検討しましょう。
- **教育研修の実施**
熱中症の防止対策について、**教育（熱中症の症状、熱中症の予防方法、緊急時の救急措置、熱中症の事例）**を行いましょ。
- **熱中症予防管理者の選任及び責任体制の確立**
熱中症に詳しい人の中から**管理者を選任**し、事業場としての**管理体制を整え**ましょう。

●キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

- **暑さ指数（WBGT値）の把握**
JIS 規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を測りましょう。
準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定した暑さ指数に応じて次の対策を取りましょ。
- **暑さ指数を下げるための設備の設置**
- **休憩場所の整備**
- **涼しい服装等**
- **作業時間の短縮**
暑さ指数が高いときは、**作業の中止、こまめに休憩をとる**などの工夫をましょ。
- **熱への順化**
暑さに慣れるまで間は**十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣ら**していきましょ。
- **水分・塩分の摂取**
のどが渴いていなくても**定期的に水分・塩分**を取りましょ。
- **健康診断結果に基づく措置**
①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢
などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょ。
- **日常の健康管理等**
睡眠不足や前日の飲みすぎはないか、また当日は朝食をきちんと取ったか、管理者は確認しましょ。
- **労働者の健康状態の確認**
作業中、管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょ。
- **異常時の措置**
あらかじめ、近くの病院の場所を確認しておき、少しでも**異変を感じたらすぐに病院へ運ぶか、救急車を呼び**ましょ。
- **熱中症予防管理者は、暑さ指数を確認し、巡視等により、次の事項を確認しましょ。**
 - 暑さ指数の低減対策は実施されているか
 - 各労働者が暑さに慣れているか
 - 各労働者の体調は問題ないか
 - 作業の中止や中断をさせなくてよい
 - 各労働者は水分や塩分をきちんととっているか



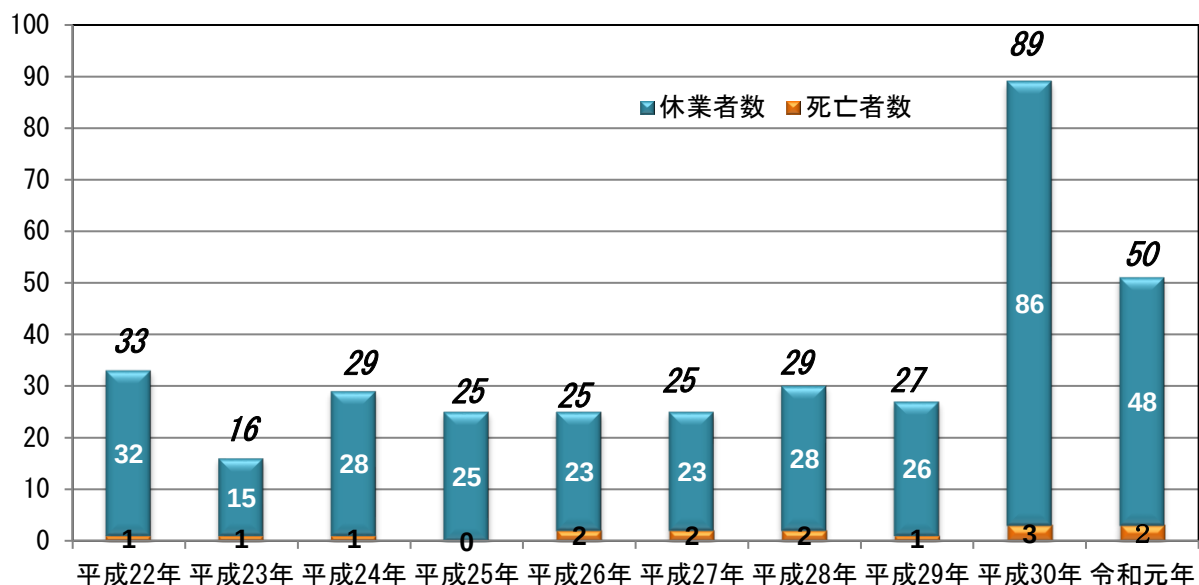
●重点取組期間（7月1日～31日）

- 暑さ指数の低減効果を改めて確認し、必要に応じ追加対策を行いましょ。
- 特に梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょ。
- 水分、塩分を積極的にとりましょ。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意しましょ。当日の朝食はきちんととりましょ。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょ。
- 異常を認めたときは、ためらうことなく救急車をよびましょ。

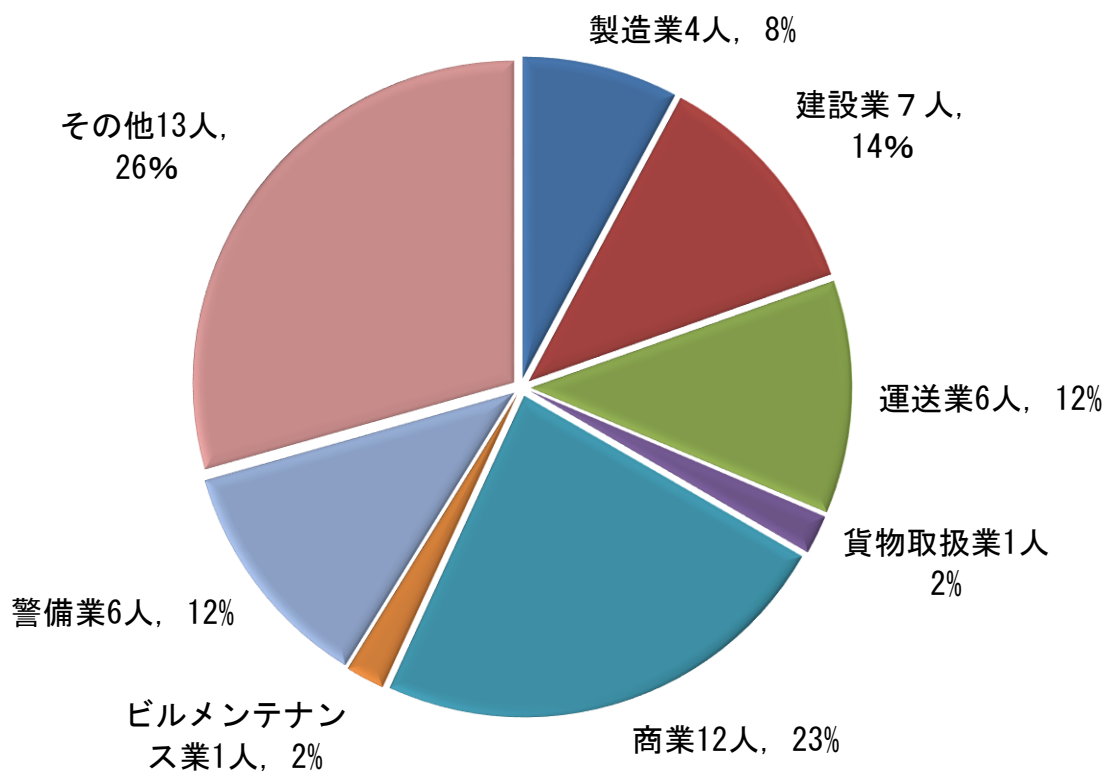


令和元年の府内の事業場における熱中症の発生状況

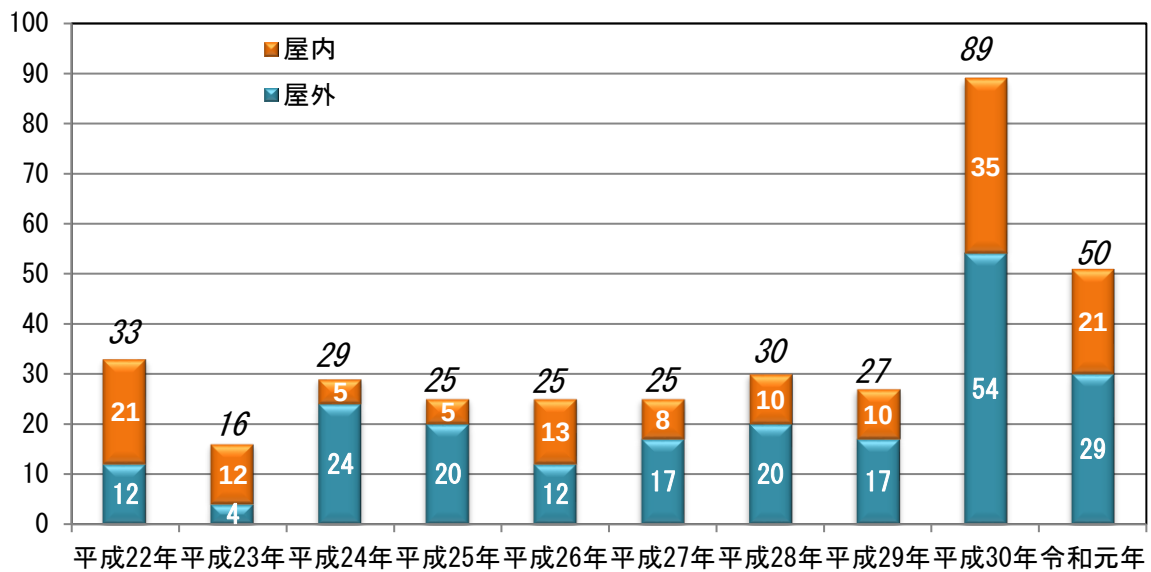
◇ 熱中症による休業4日以上死傷者数は、前年より減少し50人であった。また、死亡者は、前年より1人減少し2人であった。



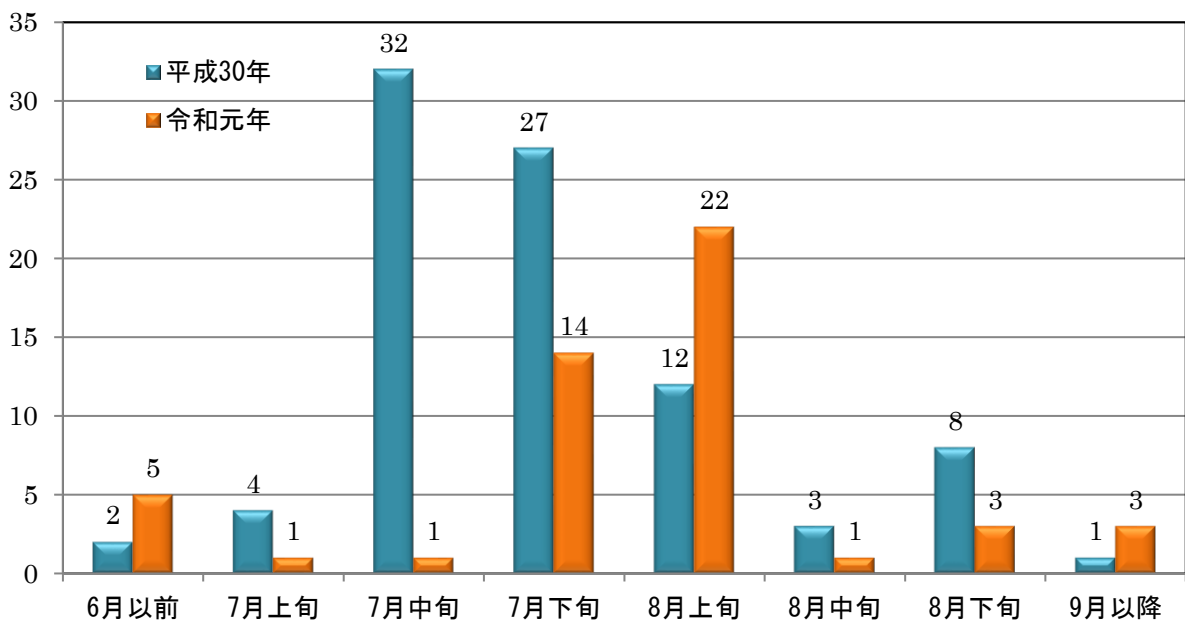
◇ 業種別では、製造業4人、建設業7人、運送業6人、貨物取扱業1人、商業12人及び警備業6人となっている。



◇ 全体の約6割が屋外作業であったが、約4割が屋内で発生している。



◇ 発生時期は、全体の7割以上が7月下旬、8月上旬に集中している。また、6月以前にも5人被災している。



本年も例年と同じように梅雨明けに猛暑日が多くなり、暑さへの順化が十分できていない7月下旬、8月上旬に多発した。
 全国の熱中症による死亡者数は25人と前年より3人減少している。

令和元年 大阪府内の事業場で発生した熱中症の発生事例

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温(℃)	最高WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
7月	その他の事業ーその他	19時台	20代	男性	33.2	30.5	ショーのため、着ぐるみを着て事業場内でダンス等の練習を行い、終了後控室に戻る途中で気分が悪くなり歩行困難の状態で、救急搬送されたが死亡したもの。	屋内
9月	木造家屋建築工事業	15時台	50代	男性	34.5	31.6	建設現場において、コンクリート打設作業を行っていたところ、昼過ぎに被災者が倒れた。その後、救急車で搬送されるも死亡した。	屋内

令和元年 大阪府内の事業場で発生した熱中症の発生事例（休業4日以上）

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温(℃)	最高WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
5月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	9時台	60代	男性	28.2	23.0	機材の入った袋を同僚と持ち移動していたところ、意識をなくし、段差部分で転倒した。	屋外
5月	その他の事業ーその他	11時台	30代	男性	24.2	21.0	研修所において、研修の準備のため使用の機材の点検を行い、研修を受講中気分が悪くなった。	屋外
5月	各種商品小売業	14時台	20代	男性	32.4	23.8	荷受場に設置されているテント内で、準備中寒気と震えの症状が出た。	屋外
6月	その他の接客娯楽業ーその他	12時台	40代	女性	30.9	26.5	変電設備の周辺を清掃作業中、熱中症になった。	屋外
6月	一般飲食店	18時台	40代	女性	31.3	27.0	厨房内で作業中、汗を大量に掻き、その後倒れた。	屋外
7月	一般貨物自動車運送業	15時台	30代	男性	27.5	25.5	配送先で納品中、気分が悪くなった。	屋外
7月	警備業	10時台	50代	男性	31.7	28.6	建設現場で交通誘導作業中、吐き気、頭痛などの症状が出た。	屋外

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温(℃)	最高WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
7月	木造家屋建築工事業	16時台	20代	男性	31.9	29.8	外壁の取り付け作業中、熱中症になった。	屋内
7月	その他の事業ーその他	14時台	30代	女性	33.6	30.2	電気器具の点検作業中、だるさと、過呼吸の状態になり、受診した。	屋外
7月	一般貨物自動車運送業	12時台	50代	男性	34.4	30.2	屋内作業場で荷の仕分け作業中、倒れた。	屋外
7月	その他の卸売業	14時台	40代	男性	37.5	32.2	スクラップの作業現場で仕分け作業中、熱中症になった。	屋外
7月	倉庫業	14時台	10代	男性	34.4	29.4	倉庫内で作業中、午前中から気分が悪かったが、午後になり受信した。	屋内
7月	警備業	15時台	70代	男性	35.2	31.1	交通誘導の作業中、倒れているところを発見された。	屋外
7月	警備業	11時台	60代	男性	34.8	31.6	住宅建設現場で交通整理の作業中、立ち上がれなくなった。	屋内
7月	通信業	13時台	20代	男性	34.8	31.2	配送作業中、気分が悪くなり、受診した	屋外
7月	警備業	14時台	70代	男性	34.8	31.2	新築工事現場で入場口で交通整理を行っていたところ、倒れた。	屋外
7月	その他の小売業	15時台	20代	女性	34.8	31.2	営業で外回り中、熱中症で倒れた。	屋外
7月	警備業	10時台	60代	男性	35.4	32.2	工事現場で、交通誘導作業中気分が悪くなった。	屋外
7月	機械修理業	14時台	60代	男性	35.4	32.2	屋外でフォークリフトを使用して、自動販売機の整理及び解体作業に従事していたが、気分が悪くなり手のしびれの症状が出た。	屋外
7月	その他の卸売業	19時台	40代	男性	35.4	32.2	工場内で作業中、気分が悪くなり休憩していたが、体が痙攣し始めた。	屋外

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温(℃)	最高WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
8月	その他の商業ーその他	11時台	10代	男性	35.9	32.5	調査作業中、車に戻ったとき、意識がもうろうとなった。	屋外
8月	一般貨物自動車運送業	11時台	20代	男性	37.5	32.3	室内で卸作業中、気分が悪くなり休憩していたが、容体が急変し、救急搬送された。	屋外
8月	一般貨物自動車運送業	12時台	30代	男性	37.5	32.2	配送先でトラックの荷の整理作業中に、気分が悪くなった。	屋内
8月	機械(精密機械を除く)器具製造業	13時台	60代	男性	37.5	32.2	製品を製作中、発汗、だるさを覚え休憩し、帰宅したが病院に行き、熱中症と診断された。	屋外
8月	その他の小売業	15時台	50代	女性	37.5	32.2	レジ打ち作業中、気分が悪くなり、受診し、熱中症と診断された。	屋内
8月	新聞販売業	16時台	70代	男性	37.5	32.2	夕刊配達中、熱中症になった。	屋外
8月	一般貨物自動車運送業	16時台	40代	男性	37.5	32.2	物流センター内で、荷下ろし作業中、手足が痺れ、倒れこんだ。	屋内
8月	その他の事業ーその他	17時台	60代	男性	37.5	32.2	家屋の点検調査を終了して、帰宅後就寝中両腕のしびれとめまいがした。	屋内
8月	その他の商業ーその他	21時台	50代	女性	34.7	31.6	施設内で清掃作業中、空調がなかったため、体調が悪くなった。	屋外
8月	病院	22時台	20代	女性	34.7	31.6	施設内で空調装置が故障し、利用者の介助作業を行っていたが、気分が悪くなった。	屋内
8月	その他の小売業	8時台	50代	女性	36.3	30.4	調理場で作業中、熱中症になった。	屋外
8月	木造家屋建築工事業	10時台	30代	男性	36.3	30.4	足場を組み立て中、気分が悪くなった。	屋内
8月	ビルメンテナンス業	10時台	60代	男性	36.3	30.4	清掃作業中、意識を失い倒れた。	屋内

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温(℃)	最高WBGT値(℃)	発生状況の概要	屋内外
8月	社会福祉施設	14時台	50代	女性	36.3	30.4	送迎の途中、事務所で待機していたところ気分が悪くなった。	屋内
8月	警備業	16時台	50代	男性	36.3	30.4	交通誘導作業中、熱中症で病院に搬送された。	屋外
8月	一般飲食店	14時台	40代	女性	36.9	31.0	キッチンで調理中、熱中症になった。	屋外
8月	その他の事業ーその他	14時台	30代	男性	36.9	31.0	倉庫で整理作業中、熱中症になった。	屋内
8月	製本業	11時台	40代	女性	36.2	31.2	作業場で製本作業中、吐き気を伴い気分が悪くなった。	屋外
8月	その他の建築工事業	13時台	20代	男性	36.2	31.2	足場上で、電気工事時従事中熱中症になった。	屋内
8月	その他の土木工事業	8時台	40代	男性	35.5	31.1	屋外で配管工事中、気分が悪くなり、休憩していたが、体調が戻らないため救急搬送した。	屋内
8月	家具・建具・じゅう器小売業	16時台	60代	女性	35.5	31.1	レジ打ち作業中、外からの熱風で気分が悪くなり、受診し、熱中症と診断された。	屋内
8月	その他の小売業	10時台	10代	女性	37.2	32.5	店内でレジ作業中、気分が悪くなり、休憩していたが、自力歩行が困難になり受診した。	屋外
8月	一般貨物自動車運送業	15時台	20代	女性	33.7	31.0	倉庫で梱包作業中、気分が悪くなった。	屋外
8月	農業	16時台	20代	男性	33.8	30.7	草刈り作業中、トラックで買い出しの途中頭痛等の症状が出た	屋内
8月	陸上貨物取扱業	15時台	40代	男性	33.9	31.3	積込み作業中、体が痙攣した。	屋内
8月	その他の非鉄金属製造業	1時台	30代	男性	28.9	26.9	工場内で炉前で作業中、手がしびれ気分が悪くなり休憩していたが、容体が急変した。	屋内

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温 (℃)	最高WBGT 値 (℃)	発生状況の概要	屋内外
9月	派遣業	5時台	70代	男性	33.1		倉庫内で段ボールに入った荷物を仕分けする作業を行っていたが、気分がわるくなり、意識を失ったもの。	屋外
9月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	13時台	20代	男性	35.5	31.7	現場で杭打ち作業中、足がつり休憩していたが回復しないため受診した。	屋外

WBGT 値については環境省より